

障害者の声 幅広く収集

東タク協ケア輸送委 車いす乗車拒否問題で

東京ハイヤー・タクシー協会（町田栄一郎委員長）が19日、市ヶ谷の自動車会館で開かれ、川村泰利副会長（宮園自動車社長）は、障害者団体「DPI日本会議」によるユニバーサルデザイン（UD）タクシーの車いす乗降調査に言及、「DPIだけでは偏りがある」と述べ、幅広く障害者の声を集めたい意向を示した。



「DPIだけでは偏りがある」と語る川村副会長（19日、市ヶ谷）

車いす乗車拒否問題に対し、「拒否するような乗務員は始めから断るつもりでハンドルを握

っている。一番大切なのは、まずは乗せるといって心構えを持つこと」と強調した。

後付けペダル踏み間違い装置

国交省が性能認定制度

国土交通省は既販車への「対策」（6月18日関係閣僚後付けペダル踏み間違い急発進抑制装置について、今年度中に性能認定制度を創設し、来年4月以降、メーカーから申請を受け付ける。また、すでに販売されている後付け装置の認定結果を同日発表した。トヨタ自動車は「踏み間違い加速抑制システム」やダイハツ工業の「つくつく防止」、データシステムの「ペダルの見張り番II」など9装置が認められた。

2021年11月以降に発売される新車を対象に、衝突被害軽減ブレーキの装着が義務化される。